

# I 研究の概要

令和4年度 神埼市立西郷小学校校内研究

## 1 研究主題

主体的に学び、進んで表現する児童の育成  
～算数科における「算数チャレンジ」を生かした学習指導を通して～

## 2 主題設定の理由

### (1) 今日の課題より

21世紀の社会は、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展により急速に変化しており、予測困難な時代になっている。このような先が予測できない時代に生きる子供たちには、解き方の決まった問題を効率的に解いたり、決められた手続きを効率的にこなしたりするだけでなく、子供たちには自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められている。

新学習指導要領においても、「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。」とされ、表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことが重視されている。

### (2) 学校教育目標から

本校は学校教育目標を『一人一人が意識して学びの道にいそしむ西郷っ子の育成』とし、中でも、学びに関する子どもの具体的な姿として、「進んで学習する子」、「自分の考えを表現する子」、「友だちと学び合う子」を掲げている。これは、算数科の学習において、一人一人が既習事項を意識しながら、課題解決に向けて自分の考えをもち、表現や友達との交流を通して、確かな学びを得ることで達成できる姿である。したがって、本研究主題は本校の教育目標の具現化につながるものであると考えた。

### (3) 児童の実態から

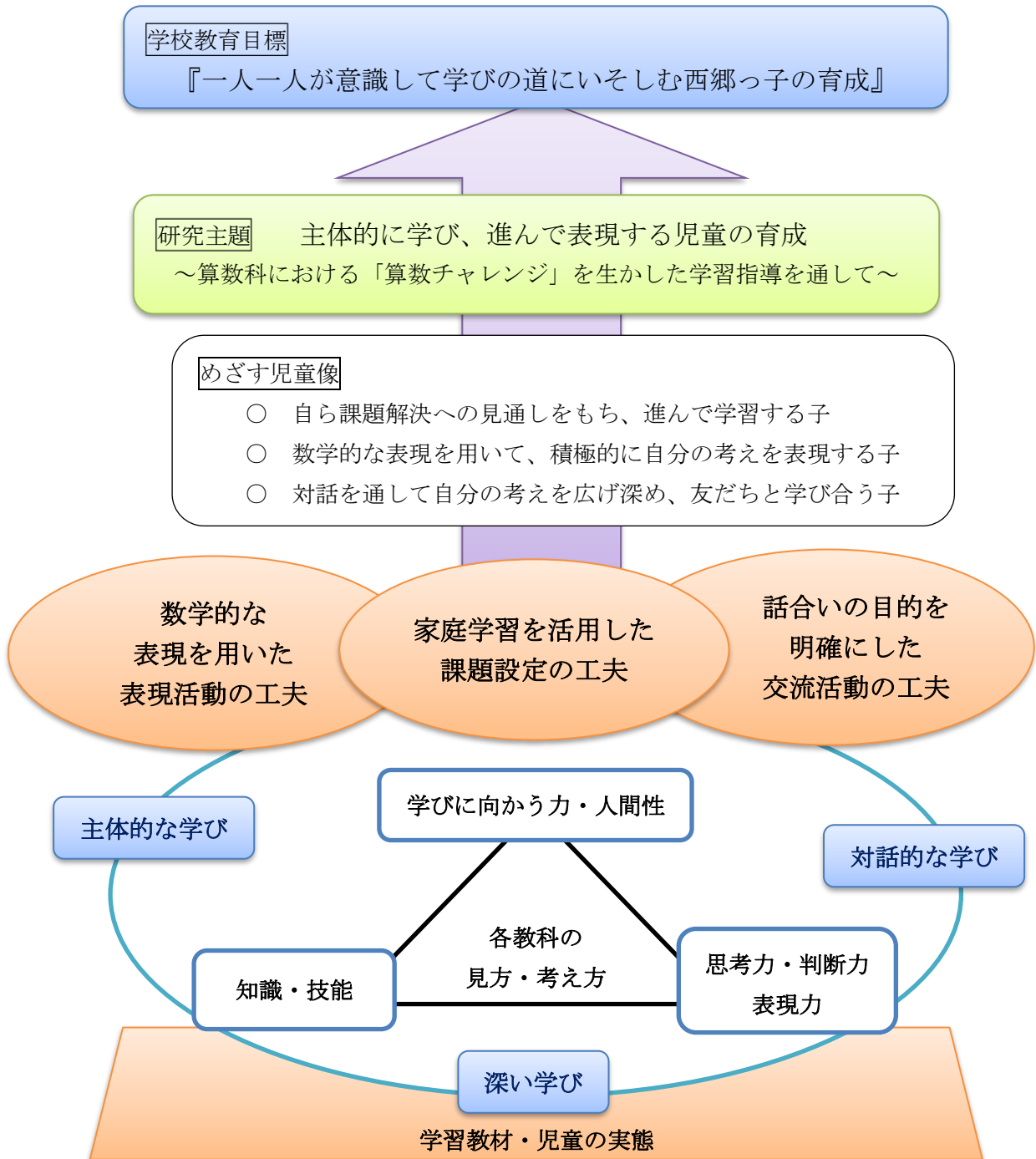
算数の授業では、既習事項が十分に身につけておらず、考える糸口を探せない児童や、自分の考えに自信がなく、表現することに苦手意識をもっている児童の姿が見られた。また、学びに対して受け身なため、友達の考えや教師の説明を聞いたり、板書を写したりすることで安心感を得ている児童の姿も見られた。このような実態から、昨年度は家庭学習として、次時の学習課題を読み自分なりに考えて解くことに取り組んだ。家庭学習をすることで、算数に苦手意識をもっている児童の学習課題に対する抵抗感が軽減し、見通しをもって授業に臨めるようになった。また、導入場面の時間短縮ができたことで、交流や習熟の場の確保にもつながり、進んで対話や習熟する児童の姿も見られるようになった。

そこで、本年度は予習的な家庭学習を「算数チャレンジ」と名付け、「算数チャレンジ」を生かした算数科授業のあり方について探究する。「算数チャレンジ」によって児童が学習の見通しをもち、教師が児童の理解度を踏まえた学習指導を行うことで、主体的に学び、進んで表現する児童の育成ができると考え、本主題を設定した。

## 3 めざす児童像

- 自ら課題解決への見通しをもち、進んで学習する子
- 数学的な表現を用いて、積極的に自分の考えを表現する子
- 対話を通して自分の考えを広げ深め、友だちと学び合う子

#### 4 研究構想図



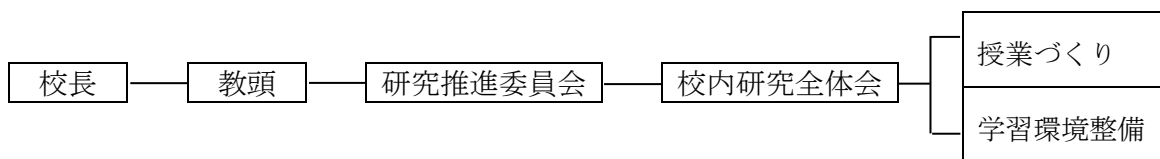
## 5 授業設計（授業の型、展開マニュアル）

学習過程	児童の活動内容		理解度 チェック
算数 チャレンジ	予習的な 家庭学習	・家庭学習で次時の学習課題を読み、自分なりに考えて解く。 ・理解度を自己評価する。	○
つかむ	課題の設定	・算数チャレンジでの取り組みを基にして、めあてを考える。 ・既習内容・方法を想起し、見通しをもつ。	
さぐる	自力解決	・図や式、言葉等で自分の考えを表現する。	
たかめる	集団解決	・話し合いの目的を明確にした交流活動をする。 ・学習課題の答えを導き出す。	
まとめる	本時のまとめ	・「めあて」を意識した「まとめ」を考える。	
チェック	判定問題	・教科書の練習問題に取り組み、理解度を自己評価する。	○
習熟	練習問題 発展問題	・教科書の巻末「もっと練習」の練習問題、挑戦問題、GIGA 端末を活用して学習内容の習熟を図る。	
ふりかえり	自己評価	・評価の観点を明示して、振り返りを書く。	○

## 6 研究内容および方法（今年度の重点項目◎）

- ◎ 家庭学習を活用した課題設定の工夫
  - 算数チャレンジ、自主学習の取り組み、意識調査
- 数学的な表現を用いた表現活動の工夫
  - 指導事項、数学的な表現を意識した言語活動
- 話し合いの目的を明確にした交流活動の工夫
  - 子どもの学びを引き出す板書や発問の仕方の模索
  - GIGA 端末の活用方法の模索

## 7 研究組織と活動内容



### (1) 研究推進委員会

- ①校内研究の主題・副題・内容についての骨子を作成
- ②校内研究全体会で積み残された問題点や疑問点の最終的な協議、解決
- ③メンバー（校長、教頭、教務、研究主任、副主任、上学年代表、下学年代表）

### (2) 研究組織

- ①授業づくり
  - ・全職員を低・中・高学年の3グループに分け、検証授業・授業研究会、環境整備
  - ・学習意識調査・各種調査の実施、分析、課題の洗い出しと手立ての研究
  - ・メンバー 低学年…1年担任、2年担任、特別支援（あおぞら1、2組）担任、養護教諭、校長  
 中学年…3年担任、4年担任、特別支援（あおぞら3組）担任、栄養教諭、教頭、  
 高学年…5年担任、6年担任、特別支援（なかよし）担任、少人数担当、教務

## ②学習環境整備

- ・研究推進委員・・・全校で共通して用いる掲示物を作成
- ・担任・・・各教室で活用する掲示物を作成

## ③校内研究全体会

- ・研究推進委員会の提案について協議、共通理解、本年度の研究についての理論研究、また実践を通じた指導方法等についての研究を実施

## 8 年間計画

月	形態	内 容	備考
4	研究推進委員会	・研究概要、職員アンケート、児童意識調査についての検討	・アンケート①実施
5	研究推進委員会 全体研究会	・算数チャレンジ、算数コーナーの掲示計画についての検討 ・研究概要、算数チャレンジ、算数コーナーの掲示計画についての共通理解	
6	研究推進委員会 全体研究会	・授業公開週間①「テーマ:算数チャレンジを生かした導入の工夫」についての検討および共通理解 ・全体授業研究会 6月15日(水) 4年1組「垂直と平行」 T1 小林 由紀子 T2 川口 寛久	
7	研究推進委員会 全体研究会	・授業公開週間①「テーマ:算数チャレンジからめあての設定まで」の意見交流会についての検討および実施	
8	研究推進委員会 全体研究会	・職員アンケート、児童意識調査についての考察 ・「1 学期の算数チャレンジを生かした授業の在り方を振り返り、2 学期の授業の在り方をさぐる」についての検討および実施	
9	研究推進委員会 全体研究会	・授業公開週間②「テーマ:学びを生かし、深める習熟の工夫」についての検討および共通理解	
10	研究推進委員会 全体研究会	・授業公開週間②「テーマ:学びを生かし、深める習熟の工夫」についての意見交流および準備	
11	研究推進委員会 全体研究会	・授業公開週間②「テーマ:学びを生かし、深める習熟の工夫」の実施	
12	研究推進委員会 全体研究会	・「2学期の算数チャレンジを生かした授業の在り方を振り返り、3 学期の授業の在り方をさぐる」についての検討および実施	
1	研究推進委員会 全体研究会 研究推進委員会	・算数チャレンジを生かした授業の在り方についての達成状況の振り返りについての検討および実施 ・職員アンケート、児童意識調査についての考察 ・令和5年度の校内研究についての検討	・アンケート②実施
2	全体研究会	・職員アンケート、児童意識調査についての考察 ・令和5年度の校内研究についての意見交流	
3	研究推進委員会	・令和5年度の研究概要の検討	